

**製品名:** シクラーゼIウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab06352

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	130kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ADCY1
別名	ADCY1; Adenylate cyclase type 1; ATP pyrophosphate-lyase 1; Adenylate cyclase type I; Adenylyl cyclase 1; Ca(2+)/calmodulin-activated adenylyl cyclase
遺伝子 ID	107.0
SwissProt ID	Q08828
免疫原	抗血清はヒト ADCY1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 231-280

**背景**

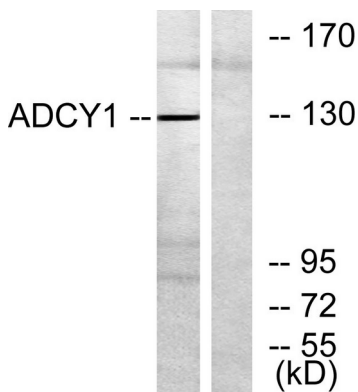
この遺伝子は、主に脳で発現するアデニル酸シクラーゼ遺伝子ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質はカルシ

ウム/カルモジュリン濃度によって制御され、脳の発達に関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2013年8月]、触媒活性: ATP = 3',5'-サイクリック AMP + ニリン酸。補因子: サブユニットあたり2個のマグネシウムイオンを結合します。、酵素制御: カルシウム/カルモジュリンによって活性化されます。Gタンパク質βおよびγサブユニット複合体によって阻害されます。、機能: これはカルモジュリン感受性アデニル酸シクラーゼです。中枢神経系の制御プロセスに関与している可能性があります。記憶の獲得と学習に役割を果たす可能性があります。、類似性: アデニル酸シクラーゼクラス4/グアニル酸シクラーゼファミリーに属します。、類似性: 2つのグアニル酸シクラーゼドメインを含みます。、組織特異性: 脳、網膜、副腎髄質。、

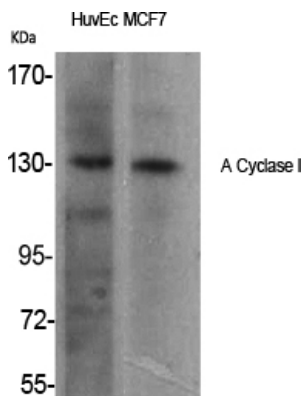
## 研究分野

プリン代謝、カルシウム、ケモカイン、卵母細胞減数分裂、血管平滑筋収縮、ギャップ結合、長期増強、GnRH、プロゲステロン媒介卵母細胞成熟、メラニン形成、拡張型心筋症、

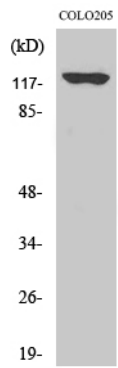
## 画像データ



ADCY1抗体を用いた COLO205 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



AシクラーゼIポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



A シクラーゼ I ポリクローナル抗体を用いた COLO205 細胞のウェスタンブロット解析